



アニマート (音楽用語):「活発な、生き生きとした」という意

病院短信

三病棟 看護師長  
船津 栄

『言葉を考える』

神が世界を創る時、まず「光あれ」。次に「はじめに言葉ありき」と言われたとか。  
以前、そんな一節を本で読んだ事があります。それほど「言葉」とは大切なものだを教えてくれた一節だったのだと今は理解できます。  
何せ、世界を創るために2番目に必要な要素だったんですから。

しかし、私達は余りにも無頓着に「言葉」を軽んじ、言いたい放題、垂れ流しているように思いませんか？しかも言いたい言葉はもう取り消す事はできません。政治家の失脚や深刻なはじめなどはすべて、言葉から始まっていると言っても過言ではありません。

しかし、一方で言葉は人を救う事も出来ます。励ましや応援など、言葉で力をもらった人も多いと思います。吉本興業の漫才師、横山やすしさんの元マネージャー、現在は人材活性プロデューサーの大谷由里子さんがある番組で言っていました。

「自分が食べた物で体が作られる。自分が聞いた言葉で心は作られる。自分が発した言葉で未来が作られる。だからいい言葉を発する事が大事。そして、言葉はエネルギーである。自分の言葉を一番聞いているのが自分なので、自分がいい言葉を使う事が大事。それが自分を作っていくことになる。」  
その通りです。言葉はエネルギー、力、薬にも凶器にもなる魔法、呪文です。なぜなら言葉には「言霊」と言われ、発する人の気持ちがかもるからです。そして、その事を知らない人は意外と多いのではないのでしょうか。

当院では開院以来、常に患者さんへの言葉かけには注意をするよう心がけてきました。

しかし、今年改めて看護部の目標が「言葉について考える」に決まりました。それがどうあつてほしい事を願った上での目標なのか、私達は心して考えていかなければなりません。

悪意のある言葉を使っている人は、ほとんどの場合、自分が悪意のある言葉を使っている事に気がついていません。

だからまずは、自分がいつも無意識に使っている言葉を慎重に選択し、その中にこもる魂までも意識して使い、言葉

によって心地よい、誇りあるよりよい未来を作っていけるよう心がけていきたいと思



看護のひろば



2病棟 看護主任

小川 育子

いつもの通勤時、暖かな陽射しの中、桜並木を歩く新社会人を目にすると、希望にあふれた姿に毎年新鮮な気持ちになります。

新年度になる当院の看護部目標は「言葉について考える」です。

言葉とは、人とコミュニケーションをとるためではなく、表現化して伝達する。言葉の使い方次第で、悲しい・辛い気持ちになったり、楽しくなったり、前向きになったり、人の心を傷つけることも癒すこともできる力があります。知らず知らずのうちに心に影響を与えています。

優しい言葉や正しい言葉を使うと自然に笑顔になり、人の心を温かくしてくれます。

逆にひどい言葉を使うと、表情も意地悪になり、使った本人も周囲の人も心は冷たくなってしまいます。

自分を含めて周囲の人たちも皆が幸せで笑顔になるような言葉を選び、優しさ、思いやりを届けられるように接していきたいです。

そして、患者さん、ご家族共に「ここに入院してよかった」と感じられるような病院を目標に、切なる思いを込めて新年度をスタートしたいと思います。



いきいき介護



2病棟 介護員

神 恵子

この時期は気温も暖かくなってきて、とても過ごしやすい時期です。4月といえば入学・進学・入社などの節目でもあります。そして春といえば「桜」「お花見」です。

桜には色々な種類があり、日本で一番多い種類がソメイヨシノです。ソメイヨシノの花言葉は「純潔」「優れた美人」との事です。当院でも毎年きれいな桜、ソメイヨシノがたくさん咲きます。お花見をする時、入院患者さんと一緒に楽しめたらと思います。



事務屋の独り言

常務理事 事務局長  
瓦井 洋

『休み方の改革を②』

この4月から働き方改革法のうち、残業時間の上限規制が実施されます。この規制は「月45時間、年360時間以内」の残業が原則で、臨時的な事情がある場合でも「年720時間、単月で100時間未満」となるようです。但し、我々のような中小企業は、この法律が1年間延期され、来年4月からの実施となります。また、来年4月から実施されるもう一つの働き方改革では、「同一労働同一賃金」、つまり同じ内容の仕事をしている正規社員と非正規社員間の不合理な待遇差の禁止も実施されます。

どちらも尤もな改革だと思うのですが、私自身は働き方改革の方にはあまり関心がありません。というのも当院は病院の方針で残業を許可しておりません。雇用についても、病院の職員は全て正規職員として雇用しており、現在のところ非正規雇用の職員は一人もおりません。ただし、人手不足は病院も一般の企業と同じく、いや、それ以上に深刻な問題となってきましたから、今後は非正規職員の雇用も検討せざるを得ないだろうとは思っています。さて一方の休み方改革です。いよいよ今月末から10連休が始まりますね。皆さん喜んでいませんか？

本当になんでこんなに祝日を増やすのですかね。365日、24時間体制で患者さんを見るこの業界では、シフトで回すとはいえず、祝日が増えていくのは本当に頭の痛い問題なのです。なぜ頭が痛いのか。こころちよつと当院看護部の人員配置と勤務割について触れておきますね。まず当院はベッド数168床です。法律では看護師が42名、介護士39名、合計81名となっていて、1名でも欠けることは許されません。そして各病棟の看護師の数は14名、介護士は13名と決められています。

その勤務割は、早番が2名、遅番1名、当直が看護師2、介護士2の4名となっており、残りは日勤という事になります。この日勤、実際に勤務できるのは看護師が5、6名程度、介護士は1、2名程度で、残りの8、9名程度は公休(4週8休制ですが、祝日は別途休みに加算されます)と有給休暇になります。つまり何が言いたいかというと、我々病院業界は常にギリギリの人員で患者さんを見ています。ましてやこの公休や有休に、産休や育休、さらには介護休暇が加われば、もはやバンザイです。毎月の勤務表の作成には病棟師長たちは、いつも四苦八苦しています。私などは、そんな苦勞も知らぬげに、いつも簡単に「理由の如何を問わず有給休暇は自由に取らせるように」と指示しています。でも内心は「これ以上の祝日は勘弁してくれ」という思いでいっぱいなのです。

日本の祝日は年間17日。米国やオーストラリアは10日。フランスは9日、イタリアは7日。先進国の中でも祝日に関しては日本がダントツに多いのだそうです。もちろん有給休暇の日数は各国で違います。例を挙げれば、バカンス(長期休暇)大国のフランスが30日で日本は20日です。でも本当に違うのは有給の取得率なんです。フランスは100%有休を使い、日本は50%。でもこの違いは多分、日本人の国民性、気質の違いじゃないかと思えます。日本人は病気になるたら困るからとか急に用事が出来たら、とかで有休を残しておきたいと考えるのだそうです。

ともかく、2月号でも言いましたが、この国の労働人口の70%がサービス業につく現代の日本では、好きな時に好きに休める制度の方が気質に合っているのではありませんか。ですから、やたら祝日を増やすのは止めて、祝日を有給休暇に回したらいいと思うのです。わざわざ無理をして10連休を作られて、その上、休みの取り方で指図されたのではたまらない、と思うのは私だけでしょうか。







# ひな祭り

## 相談室だより

医療福祉相談室  
江原 佳世子

今年も病院の庭の桜が満開の時を迎え、開院して14回目の春となりました。毎年巡ってくるお花見の季節ですが、桜を見上げて感じることはその時々的心情によって変わってくるように思います。ある時はとても晴れやかな気持ちになったり、ある時は何か思い出してちょっと切なくなったり……と、胸に去来する思いは様々ですね。でも、やはり笑顔で桜を愛でるのが一番ですから、ぜひ面会時にはゆっくりとお花見を楽しんでいただきたいと思います。

当院の患者さんは、入院して間もない方から10年以上入院されている方までいらっしゃいます。入院中は時間の経過と共に、少しずつ患者さんのご様子や、ご家族の状況に変化がみられていくものです。何かお気づきのこと、ご心配なことなどがございましたら、いつでもお話を伺いますのでお声かけ下さい。当院でお過ごしになる時間が、患者さんとご家族の皆さんにとって穏やかで大切なものとなるようにお手伝いしていけたらと思っています。



## 4月の予定

- ◆お花見会  
3日(水) 13:50~ 全病棟 院庭にて  
※順延時: 4日(木)  
ご家族の皆さんも是非花見にいらしてください
- ◆お誕生日会  
14:00~ 各病棟デイルームにて  
1病棟 19日(金)  
2病棟 17日(水)  
3病棟 10日(水)



## スタッフ紹介



3病棟 看護師  
かんだ 富美子  
神田 富美子  
星座: 水瓶座  
血液型: A型  
出身地: 新潟県



私の家族は、夫と二人の娘と愛犬(ポメラニアン)二匹です。娘達が自立し手が掛からなくなり、日々の生活が犬中心になっています。仕事から帰ると玄関に迎えてくれる姿は、疲れを吹き飛ばしてくれます。家族旅行では、わんこと泊まれる宿を検索し、一緒に旅行しています。病院では、サラちゃんに癒され元気に働きたいと思っています。